

トップ > フォトレポート

練習

- ・初練習 8 月 31 日。演奏会は 12 月 8 日。102 日後。土曜日 (高津オケの練習日) は 15 回。

8 月 31 日 残り 102 日

- ・練習を指導してくださるのは、宮野谷義傑先生。
- ・小森先生とはウィーンの留学時代からの間柄ということ。
- ・この日は、第九全楽章と、レオノーレの練習を行った。
- ・高津オケは、ある演奏会に向けた、初練習では、恒例として、通し練習 (うまくいかなかった、とりあえず最後まで弾ききる) を行う。
- ・レオノーレは、むむむ。といった感じ。早いところもちろん難しいが、初っ端のゆっくりとした 3 拍子も意外と合わせずらい。先生は、3 つ振り、6 つ振り、と、色々工夫しながら、最後まで導いてくれた。
- ・第九。レオノーレで色々察した先生は、かなりゆっくりなテンポで曲を開始。そして、こちらは、すでに何回か第九を引いたメンバがいることもあり、スムーズに進行。
- ・そして、小森先生は、譜面に忠実 (テンポも) ということで、実際のスピードに近いもので、もう一度。でも現状、色々なフレーズが重くなって、テンポが緩んでいる感じ。

9 月 7 日 残り 95 日

- ・もう 9 月である。ちょっと前まで暑くて仕方がなかったのに、最近は、ちょっと涼しくなってきたような気がする。
- ・本日は、午前、弦パート練習。午後、合奏である。
- ・午前はお休みしました。すみません。
- ・午後のメニューは、レオノーレ、第九 1 楽章。第九 2 楽章である。
- ・言ってみれば、楽譜に忠実というのは、まずは楽譜通りに引けばいいのだが、それが難しい。
- ・フレーズ一つとっても、音程、音の長さ、強弱、切るのは伸ばすのか。一瞬の情報処理で、それらがすべてこなせないのである。
- ・それで、楽譜には、p マークにマーカーを塗ったり、cresc と書いてあるのをくに書き直したり、色々するのだが、処理が追いつかず、見逃すのである。
- ・最初のうちの練習とは、それらの見逃しミスを低減させる行為とも言えるかもしれない。
- ・先生はそう言ったところを丁寧に見てくれる。またアンサンブルをしっかり見てくれる。
- ・レオノーレの早いパッセージのところとかは、本日は執行猶予のようだ。

9 月 14 日 残り 88 日

- ・本日のメニューは第九 3 楽章、4 楽章。午前は弦分奏、午後は合奏である。
- ・指導は野崎先生。先生は自らもコントラバス奏者であり、弓の使い方など具体的に指導くださる。
- ・個人的なこの日の最重要指導ポイントは、「弾けてないなら、小さい音で、周りをよく聞いて、そこに乗っかることに全力を尽くす」というお言葉。
- ・家に帰って、特に弾けなかった所をチェック。第九全体で計 16 か所を洗い出し、そこをまず本来のスピードで弾けるようにがんばろう。

9 月 21 日、残り 81 日

- ・本日は、小森先生の初指導。メニューはレオノーレ、第九全楽章である。

- ・宮野谷先生からも、楽譜に忠実にやるということとはうかがっていたが、4楽章の最後の *maetoso* など、普段 CD で聞きなれているリズムとは、ずいぶん違うということが分かった。宮野谷先生も、古い CD は聞かないでねとアドバイスしてくれていた。
- ・ベーレンライター版と顕著にテンポが違う所は4楽章の下記
 - ・655 小節 *Allegro* が 76 ~ 80 だいぶゆっくりに感じられる
 - ・916 小説 *Maestoso* が 76 ~ 80 だいぶ早く感じられる。

- ・指揮者の先生を見て、リズムを感じてみよう！
- ・第九 1 楽章の冒頭である。大人の事情で音は消してある。
- ・単純な 4 拍子なので、1、2、3、4 と数えてみよう。
- ・どんな曲でも、スタート時はペースがつかみにくく、乱れがちになるものだ。
- ・第九 4 楽章。4 楽章冒頭が再現される *Presto* の 5 小節前。203 小節目のからのテンポ変更が連続する部分だ。こういった説明をしてくださるのはありがたい。
- ・上の指導を受けての練習。やはり大人の事情で音は消してある。

9 月 28 日、残り 74 日

- ・この日はレオノーレと第九 1、2 楽章
- ・私は所要で欠席しました。すみません。

10 月 5 日、残り 67 日

- ・10 月 5 日、6 日は高津オケ恒例の合宿。今回は岩井海岸の 川きん で行いました。

- ・5 日 [午前] レオノーレ全奏
- ・[午後] 第九弦分奏 & 管個人練 第九全奏
- ・[夜間] 親睦会
- ・6 日 [午前] 全曲全奏
- ・とたつぷり練習してきました。

10 月 12 日、残り 60 日

- ・この日は、弦分奏、管打分奏。先生は野崎先生、奥澤先生である。
- ・私は諸事情で欠席でした。すみません。

10 月 19 日、残り 53 日

- ・この日は、第九 3 楽章 4 楽章。指導は宮野谷先生
- ・1 回の合奏時間は、大体 3 時間。だがまだまだ合わないところが多く、2 つの楽章の練習でも、なかなか最後までたどり着けない。

10 月 20 日、残り 52 日

- ・この日は、第九 1 楽章 2 楽章、レオノーレ。指導は小森先生
- ・めずらしく、日曜日の練習である。

10月26日、残り46日

- ・この日は、第九3楽章4楽章。指導は宮野谷先生

11月2日、残り39日

- ・この日は、第九1234楽章、レオノーレ。指導は小森先生
- ・午前午後とたっぷり練習しました。

11月9日、残り32日

- ・いよいよ、ミューザでの合唱合わせ。

- ・本番のホールということで、各パートの音量のバランスや、2階席、3階席での聞こえ方はどうか？ということを確認します。
- ・練習の様子をちらり。録音場所が、ステージ上のファーストバイオリン側なので、実際の客席で聞くバランスとは全然違いますが。こういう録音はなかなかないと思うので面白いと思います。
- ・それにしても、合唱すごい迫力。すばらしかったです。オケも負けてられません。

11月16日、残り25日

- ・すみません。僕はお休みでしたが、弦分奏と、管分奏を行いました。

11月23日、残り15日(どうやら、いままで残日数の計算が間違っていたようだ)

- ・この日はアイスがとれちゃったりしてして、大変でした。

11月30日、残り8日

- ・2回目の合唱合わせ。

- ・この日はソリストの方も、何名か来ていただいて、本番さながらの練習でした。それにしても、プロの実力はすごい！もちろん合唱団もすごい迫力でしたよ。

12月1日、残り7日

- ・ついにやってきました。本番一週間前。
- ・この日も朝から晩まで、練習を行いました。
- ・ここからが追い込みです！

12 月 8 日

- ・編集者は力尽きました。